報道機関各位

我孫子市
Abiko city

令和６年10月１日
定例記者会見資料

# 杉村楚人冠記念館　秋季企画展
# 楚人冠の本棚「楚人冠が読んだ文学－紫式部からシェークスピアまで－」

ジャーナリスト・杉村楚人冠は明治時代の文学青年として育ち、生涯を通じて文学に関心を寄せ続けました。今回の展示では、楚人冠旧蔵の書籍を中心に１８点の資料から、当時の人々を夢中にした文学作品や、文学が繋げた楚人冠の交友関係について紹介します。

期　間：令和６年１０月１日（火）～令和７年１月５日（日）午前９時～午後４時３０分
（入館４時まで）※月曜休館（祝日の場合は翌平日）
場　所：杉村楚人冠記念館
入館料：３００円（高校・大学生２００円、中学生以下無料）

**主な展示資料**

・谷崎潤一郎訳『潤一郎訳源氏物語』
現在も大変な人気を誇る紫式部の『源氏物語』。その大ベストセラーを小説家・谷崎潤一郎が訳したものです。出版当時「潤一郎訳」と呼ばれ、明治の世に新たな源氏ブームを巻き起こしました。

・シェークスピア著・坪内雄蔵訳『ロミオとジュリエット』
小説家・坪内逍遥は、日本で初めてシェークスピアの作品を完訳し『シェークスピア全集』としてまとめました。楚人冠はイギリスを訪れた際、シェークスピアの生家や墓に立ち寄るほど、強い関心を持っていました。土産として持ち帰った墓碑銘も展示します。

・伊東忠太・杉村広太郎『阿修羅帖』
築地本願寺など、数々の名建築を生んだ建築家・伊東忠太は、膨大な数の風刺画を残しています。その作品を楚人冠が一賛一画形式でまとめたものが本作になります。楚人冠は自身の人脈を駆使し、芥川龍之介や与謝野晶子など、そうそうたるメンバーに賛の執筆を依頼しました。

【問い合わせ】
我孫子市教育委員会生涯学習部
文化・スポーツ課　杉村楚人冠記念館
担当：武藤
電話：０４－７１８７－１１３１

令和6年
10月1日（火）
｜
令和7年
1月5日（日）
秋季企画展　楚人冠の本棚
楚人冠が読んだ文学
―紫式部からシェークスピアまで―
我孫子市杉村楚人冠記念館
〒270-1153　千葉県我孫子市緑 2-5-5　電話 04-7187-1131
The Haven Abiko,Chiba-ken …安息の地、千葉県我孫子

# 物語、 詩歌、 随筆……
# 楚人冠が読んだ文学の世界をお楽しみください。

今回はシリーズ展示「楚人冠の本棚」の１つとして、文学作品に焦点を当てた展示を行ないます。

杉村楚人冠は、幼い頃から文学に関心を持ち、明治の文学青年として仲間たちと文学愛を育んでいました。また、東京朝日新聞社のジャーナリストとして働く中で、文学に携わる人々との交流も増えていきました。そんな楚人冠が遺した膨大な書籍の中には、文学作品も数多くあります。

今回の展示では、楚人冠が読んだ『源氏物語』『ロミオとジュリエット』などの物語や、高浜虚子、石川啄木といった知己の詩歌を掲載した書籍、そして彼らとの関係をご紹介します。

楚人冠の蔵書の数々
（サロン内建付け本棚）

## 杉村楚人冠の邸宅
### 古きよき大正から昭和が息づく家

東京朝日新聞社のジャーナリスト・杉村楚人冠は、明治45年（1912）、千葉県我孫子に別荘を設け、大正12年（1923）の関東大震災をきっかけに一家で移住し、亡くなるまでをこの湖畔の地で過ごしました。

楚人冠が「The Haven Abiko, Chiba-ken」（安息の地、千葉県我孫子）と称した、風光明媚な我孫子の邸宅でのひと時を、どうぞお楽しみください。

名随筆が生み出された「書斎」

現在の杉村楚人冠邸園

応接室「サロン」

庭を散歩する楚人冠

母屋の内部　　園内の様子

**我孫子市杉村楚人冠記念館**
開館時間：午前９時～午後４時 30 分（入館午後４時まで）
休館日：月曜日（月曜が休日の場合、直後の平日）
入館料：一般 300 円／高校・大学生 200 円　中学生以下無料
団体 20 名以上２割引　障がい者免除あり
３館共通券（白樺文学館・鳥の博物館共通、有効期限１か月）
一般 500 円／高校・大学生 400 円
２館共通年間パスポート（白樺文学館共通、１年間入館可、特典あり）
一般 2,000 円
交通手段：ＪＲ常磐線・成田線我孫子駅下車　南口より徒歩９分
阪東バス　緑一丁目・寿一丁目・アビスタ前下車　徒歩５分
駐車場はありません、公共交通機関をご利用ください。